

「お茶の京都」  
宇治市マスタープラン



お茶の京都

宇治市

## はじめに

「お茶の京都」は京都府が推進する将来戦略として「海の京都」、「森の京都」と並ぶ山城地域をターゲットとしたお茶を中心とする地域振興、観光振興に関するプロジェクトです。

一方、本市では「お茶と歴史・文化の香るふるさと宇治」を第5次総合計画のまちづくりの目標に掲げ、平成26年6月には「宇治市将来戦略プラン」を、平成28年3月に「宇治市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を取りまとめました

この「宇治市まち・ひと・しごと創生総合戦略」では、持続的に発展するまちを目指すことを目標に、「確固たる宇治ブランドの確立」、「市民の宇治への愛着の醸成と市民によるふるさと宇治の創生」、「まちの魅力を高める都市基盤の整備」、「地域経済の活力づくり」、「若い世代の就労・結婚・子育ての希望をかなえる環境づくり」の5つの基本目標を定め、それぞれ目標値を掲げ施策を推進しているところです。

また、平成25年4月に公表した「宇治市観光振興計画」では、計画のコンセプトに「宇治茶に染める観光まちづくり」を掲げ、数ある観光資源の中でも認知度が高いもののこれまで十分に活用できていなかった“宇治茶”ブランドを最大限に活用していくことを柱に、宇治市の観光を観光事業者だけでなく市民全体で盛り上げ、国内外からの観光客に対して宇治らしいおもてなしの心を持ってあたたかくお迎えしていきたいとの思いを込めて策定したものです。

さらに文化庁が地域の歴史的魅力や特色を通じて我が国の文化・伝統を語るストーリーを「日本遺産」として認定することとなり、その第1号として宇治茶に関わるストーリーが「日本茶 800年の歴史散歩」として認定されました。

加えて「宇治茶の文化的景観」の世界文化遺産への登録を目指す動きとも重なり、本市としてはこれまでの源氏物語のまちづくりに加えて、「宇治茶」ブランドを最大限に活かしたまちづくりを推進していくこととしています。

こうしたことから、本市では「お茶の京都」を、「宇治茶」をキーワードに「観光」、「おもてなし」のエッセンスを織り交ぜながら、市民生活の質の向上を目指し、世界に誇れる地域づくりを推進する一大プロジェクトとして捉え、このプロジェクトにおける本市の考え方を整理し、具体的な取り組みをマスタープランとして取りまとめました。



お茶の京都

# お茶の京都とは

## 【背景】

山城地域は日本茶のふるさと  
宇治茶は近年多様な付加価値をもって広がりを見せる  
山城地域は古くから交流の地として栄え、  
今後も発展する可能性をもっている



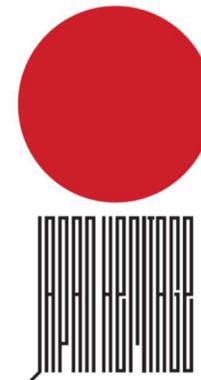
山城地域の価値を  
再認識し、  
磨きをかけ、  
世界に発信する



大交流圏を創出し  
日本の茶文化の一大拠点にする

## 【具体的な施策の展開方向】

1. 宇治茶の価値の再発見、景観やお茶文化の維持・継承
2. お茶の文化・魅力を発信する交流エリアの創出、ネットワーク化
3. お茶産業のイノベーション創出
4. お茶の文化、魅力の効果的なプロモーション・観光誘客の推進



お茶の京都



宇治茶の文化的景観を  
世界文化遺産に。

UJI-CHA TEA CULTURAL LANDSCAPE,  
AIMING FOR WORLD CULTURAL HERITAGE STATUS

## お茶の京都に対する宇治市の基本姿勢

- ◇ 宇治市は「お茶の京都」に関して全市をあげて取り組む。
- ◇ 「お茶の京都」のコンセプトを基本に、「宇治市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に沿って、「確固たる宇治ブランドの確立」にむけた取り組みとする。
- ◇ 「宇治市観光振興計画」のコンセプト「宇治茶に染める観光まちづくり」をより一層推し進め、世界に誇れる観光地域づくりを推進する取り組みとする。
- ◇ 「宇治茶の普及とおもてなしの心の醸成に関する条例」の理念を実現する取り組みとする。
- ◇ 「宇治茶の文化的景観」の世界文化遺産への登録を京都府とともに目指し、日本遺産に認定された「日本茶 800 年の歴史散歩」を活かした取り組みとする。
- ◇ 「お茶の京都」が持続的な成功となるよう、地域や関係団体とも積極的な連携を図る。

# お茶の京都における宇治市の具体的なプラン

## 1. 基本方針

山城地域全体で、お茶をテーマとした地域振興・観光振興を図り、大交流圏の創出による日本の茶文化の一大拠点にするという「お茶の京都」のテーマに基づき、本市においては、「宇治まち・ひと・しごと創生総合戦略」に沿った「確固たる宇治ブランドの確立」、「宇治市観光振興計画」のコンセプト「宇治茶に染める観光まちづくり」、「宇治茶の文化的景観」の世界文化遺産への登録に向けた取組、日本遺産「日本茶 800年の歴史散歩」を活かした取組などをさらに進めていくため、「戦略拠点の整備」、「回遊システムの整備」、「宇治茶ブランドの確立」、「観光プロモーションの展開」を軸に「お茶の京都」に関する事業を進め、「お茶の京都」としてのブランド確立を図り、郷土に対する誇りと愛着を醸成するとともに、来訪者の増加や観光消費額の増加を図り、元気な地域づくりを推進することとします。



宇治市における「お茶の京都」プロジェクトにおいては、単に茶業の振興や観光振興にとどまらず、宇治を訪れるすべての人にとって、また来てみたいまちとなるような取組とするとともに、宇治に暮らすすべての人にとって、住んでよかったと思えるような取組とします。

そのためには第一に、宇治にある歴史・観光資源や景観、まちの文化を大切にするとともにさらに磨きをかけ、個性豊かなまちを創造する（宇治らしさを極める）こと、第二に宇治茶が生活のなかに息づく地域文化の醸成を図り、来訪者に対しておもてなしの意識を持つとともに外国人観光客にも観光しやすい環境整備を推進する（おもてなし力を極める）こと、そして第三に宇治茶をはじめとした宇治の歴史や文化、魅力を来訪者に解りやすく伝えるための環境づくりを推進する（情報発信力を極める）ことを基本に取り組みを進めていきます。

## 2. 実施事業

### (1) 戦略拠点の整備

宇治橋周辺地区を「お茶の京都」の中核的なエリアとして位置づけ、宇治茶をテーマとした地域の歴史や文化が体感できるようなまちづくりを展開する。

歴史的資源の保全と活用

観光資源の魅力増進

重要文化的景観選定地区における景観の保全と茶業の振興

まだ埋もれている歴史遺産や観光資源の掘り起こし

駅前や観光地周辺における宇治らしさの演出

### 事業例

(仮称) 宇治川太閤堤跡歴史公園の整備

重要文化的景観選定地区のエリア拡大

重要文化的景観の重要構成要素となっている建造物等の修理・改修事業

宇治橋周辺地区における建物の景観修景助成事業

重要文化的景観に関する PR 事業

観光案内板整備事業

観光案内所の新設

## ( 2 ) 回遊システムの整備

観光滞在時間の延長につながるような回遊型観光を推進するため、来訪者の視点に立った受け入れ環境を整備するとともに、インターネットや各種メディアを活用した情報発信力を強化した回遊システムを構築する。

宇治茶のかおり回廊整備によるネットワークの構築

市内での宇治の歴史やお茶に関する情報発信の充実

来訪者の視点に立ったより快適な受け入れ環境の整備

現地での観光案内板等の改善や、外国人観光客にも対応した環境整備の推進

### 事業例

茶業研究所や白川地区を結ぶ「宇治茶かおり回廊」ネットワークの構築

白川の歴史・文化・茶園ガイド

重要文化的景観の重要構成要素における公開活用事業の推進

宇治橋周辺における景観に配慮した道路整備

駐車場空き情報の発信

観光トイレ整備事業

観光案内板整備事業（再掲）

観光案内所の新設（再掲）

フリーWi-Fiの充実

### (3) 宇治茶ブランドの確立

「お茶の京都」地域を国際競争力の高い魅力ある地域とするための山城地域全体のブランドイメージ確立にあわせ、宇治茶そのものの価値を国内はもとより海外にも発信するとともに、宇治茶のブランドイメージの確立に必要な人材育成や商品開発を推進する。

宇治茶が生活のなかに息づく地域文化の醸成

世界的な視点で見た宇治茶の価値の再創造

観光事業者等のおもてなし力のさらなる向上

#### 事業例

宇治茶の普及とおもてなしの心の醸成に関する条例に基づく取り組み推進

宇治茶を活かした教育の充実

むかしの茶園のお手入れ行事の開催

飲食店情報発信拡充事業

碾玉の活用

土産物開発・ご当地メニューの充実

「宇治茶接待」推進事業

#### (4) 観光プロモーションの展開

宇治市独自の観光プロモーションに加え、「お茶の京都」の統一的なテーマ・コンセプトによる観光プロモーションや、観光客誘致のための魅力的なコンテンツづくりなどを戦略的に展開する。

インターネットをはじめ、ガイドブックやマスメディアへの積極的な情報発信の推進  
観光プロモーションや観光客誘致のための魅力的なコンテンツづくりの戦略的な展開

#### 事業例

訪日海外プロモーションの充実

ICT 技術を活用した観光情報の発信

多言語観光サイトの充実

映画・テレビ・アニメなど、新たなコンテンツの活用

フィルムコミッションの設立

「お茶の京都博」への積極的な参画と宇治市独自企画の推進

既存イベントの積極的な活用（宇治川さくらまつり・八十八夜茶摘みの集い・宇治川舟茶席・宇治茶まつりなど）